

大阪民衆史研究会報

2025年11月号
第32巻第9号
(通巻360号)

発行 大阪民衆史研究会 (代表 林 耕二)

E-mail: osaka.minshushi@gmail.com (オーサカ ドット ミンシューシ)

例会のお知らせ

◇11月例会

日時 11月9日(日)13時半開場、14時開会

会場 大阪府教育会館3F蘭の間

報告 赤塚康雄さん(会員)「ジャーナリスト・柳沢恭雄その報道の軌跡
—大本営報道から北爆(ベトナム)映像の配信へ」

柳沢がジャーナリストとなる契機は京都帝大で小野秀隆教授に師事したことだ。1938年東京放送局入局。レイテ戦で柳沢は勝利に一億の体当たりが必要、決定的兵器・飛行機をと報道する。終戦後、柳沢は郷里京都府の第16師団はレイテで玉砕、無謀な訴えであったと衝撃を受けた。戦後大本営報道をやってきたジャーナリストという地点からの判断をしてゆく。1960年日本電波ニュース社を設立、ベトナム戦争報道をし、配信ニュースは世界で反戦運動を起こしベトナム和平を導く一助となる。柳沢は「ベトナム戦争という大きな舞台で小さな役割を与えられたことを喜ばなければならぬ、歴史の記録係の、はしくれであることは、ありがたいと思う」と総括している。

◇12月例会

日時 12月21日(日)13時半開場、14時開会 会場 教育会館3F蘭の間

報告 尾川寿江さん(会員・コードピンクOSAKA主宰)

「国際女性運動と私の歩み—冷戦下の国際民婦連からコードピンク運動へ」

「私は1975年から78年、冷戦下の東ベルリンに本部のあった「国際民主婦人連盟(国際民婦連)」に日本婦人団体連合会から書記として派遣された。ソ連の影響下にあった当時の国際民婦連については、あまり知られておらず経験をふりかえってみたい。帰国してからは、「国際婦人年大阪の会」などを拠点に、国際女性運動にかかわり続けてきた。2000年代以降、イラク先制攻撃に反対してアメリカの女性たちが立ち上げたCODEPINK Women for PEACEと連絡、CODEPINK Osakaを主宰してきた。米陸軍大佐で退役後、外交官であったアン・ライトさんなど、平和運動を通じて様々な世界の仲間と出会うことができた。私の歩みを語ることで、今後の国際平和運動を考えるきっかけになればと思っている。」 参加費会員400円非会員500円